



東京都市大学環境情報
学部（横浜市都筑区）と
東京都環境情報学部

横浜・都筑区と協定

連携強化し地域活性化

東京都市大学環境情報
学部（横浜市都筑区）と
東京都環境情報学部は24日、連
携協力協定を締結した。連
携協定は大学の研究成果な
どを都筑区に還元すると
ともに、同区の課題に関
する調査の実施を通じ、
地域の活性化に資する」と
を目的とする。

長 両者は2000年度か
ら連携し、これまで「中
川駅周辺福祉まちづくり
重点推進地区協議会」
「地域連携調査研究発表
会」などを実施してき
た。また、この協定締結
を契機に、同区の街の記
憶と歴史を残し、次の世
代に引き継ぐためのデジ
タルアーカイブ事業も展
開していく。

都筑区総合庁舎で行わ
れた締結式で、東京都市
大環境情報学部の増井忠
幸学部長は「これまでの
確実な実績をもとに締結
した。区と大学が協力し
て持続可能な社会の構築
を目指したい」と話し
た。一方、都筑区の吉田
哲夫区長は「行政と大学
が結びついて次の未来に
向かうことが重要」と期
待を示した。

握手する東京都市大環境
情報学部の増井学部長（左）
と横浜市都筑区の吉田区
長（右）